

第3回洛西ニュータウン タウンミーティング

テーマ「洛西ニュータウン活性化に向けた若年・子育て世代の呼び込み」

日 時：令和5年7月29日（土） 午前10時～午後0時15分

場 所：洛西支所2階大会議室

参加者：89名（第2部グループディスカッション参加者：58名）

第1部：洛西ニュータウンの活性化に向けた取組の説明・意見交換

- ・都市計画のルール見直し原案について
- ・洛西“SAIKO”プロジェクトの中間とりまとめについて

第2部：みんなで話す「多世代交流を促す新たな場づくり」

主なご意見

【第1部】（●：皆様からのご意見、⇒：京都市からのご回答）

- 地下鉄や鉄軌道、またはモノレール建設に最優先に取り組むべき。取組項目にもしっかりと記載してほしい。
- 芸大跡地には多くの人が集まる、多世代が楽しめる施設をつくる必要があるのではないか。
- 保育園の前に駐車場が少ない。送迎時などに親が保育士とゆっくり話し合える環境づくりも必要ではないか。
- 高齢化が進む洛西ニュータウンにおいて、福祉・医療は最重要課題。学校跡地に高齢者施設を誘致するなど、福祉・医療を充実させ、安心して住み続けられるまちにしてほしい。
- 鉄軌道やモノレールも重要だが、バスの均一運賃化など、バスの利便性向上にも取り組んでほしい。
- 公衆用のトイレにベビーシート（おむつを替える台）があると、乳児を連れていても安心して利用できるのではないか。

⇒ 今回も沢山の貴重な御意見を頂き感謝申し上げます。いずれも庁内で共有・検討している。今回のSAIKOプロジェクトについては、すぐにできることをきちんとやっていくという実行策をお示ししている。皆様から頂いた御意見を共有・検討しながら、実行可能なものは今後も取り入れていきたい。

今回の都市計画見直しについても、タウンミーティング等で皆様から御意見を頂いており、それらを具現化するための案をお示ししている。学校跡地など市有地の利活用についても同様に、皆様の御意見もお聴きしながら進めていきたいので、本日の第2部でもお話いただきたい。

【第2部】

※ 第2部は8班に分かれてグループディスカッションを行い、様々なアイデアやご意見がありました。各班の発表内容から抜粋してご紹介します。

- ・ 若年世代を呼び込むには、鉄道またはモノレール開通のような交通利便性の向上が大前提。
- ・ サブセンターをもっと人が集まれるコミュニティスペースのようにしたらよいのでは。
- ・ 市営住宅の空き住戸を地域交流の場とするほか、保健師や看護師のための借り上げ住宅や、学生入居など、多世代交流の場として活用できるのではないかな。
- ・ 芸大跡地にテーマパークを作れば世界から人を呼び込めるのではないかな。
- ・ 周辺の古墳や善峯寺などの観光資源をもっとPRしたら注目を集められるのではないかな。
- ・ 大通りにはバスが通っているが、小さな道にもコミュニティバスを走らせてほしい。
- ・ 学校跡地に、総合病院や特養、介護施設をつくってほしい。
- ・ 交通の問題や駐車場問題の解決、団地へのエレベーター設置などが必要。
- ・ 高齢の方が登下校の見守り活動を行っており、声掛けなどにより交流が生まれているので、このような活動を広げたらよいのではないかな。
- ・ 公園でこれまで禁止されていたことでも、正しく安全にできるようになれば、交流の幅が広がるのではないかな。
- ・ 地域の集会所で、地域の大人が子ども達に勉強を教えるような場をつくりたい。
- ・ 芸大移転後も、一部、芸術的な機能を残してほしい。ニュータウン内でも、例えばショーウィンドウに作品を展示しライトアップをしたら夜間も明るくなるのではないかな。
- ・ バス停の距離を短くしてほしい。
- ・ 飲食店を増やしてほしい。
- ・ ハード面も重要だが、地域情報発信のような、ソフト面の充実も大切ではないかな。
- ・ 市営住宅は民間の力で大胆にスクラップ&ビルドすべき。また、空き住戸の借り方をもっと柔軟にしてほしい。
- ・ 大原野や亀岡、桂、長岡など周辺地域も含めて考えるべき。自給自足のライフスタイルやコミュニティガーデンなどを通して、ニュータウン内外のつながりができるとよいのでは。
- ・ 大蛇が池公園に駐車場を設置するなど交通面の課題を解決しつつ、良い所をPRすることも重要。
- ・ 高校生、中学生がチャレンジする場がニュータウン内にあるとよいのでは。
- ・ 無料循環バスで洛西ニュータウン内を自由に行き来することができれば、例えば都市計画の見直しにより飲食店ができたとき、そこで飲んで交流してバスで帰ることができるのではないかな。
- ・ ペットは高齢者の心の癒しになるので、住宅内で飼える環境や、ドッグランがあるとよい。
- ・ 多世代交流の観点では、中高生にも本日のような場に参加してもらうべき。

- 洛西はいわゆる「トカイナカ」。街中にもすぐに出られて、大原野の美しい自然もすぐ近くにあるので、ワーケーションなどに最適ではないか。
- 多世代交流のために、洛西支所や老人福祉センター、市営住宅の空き住戸など、今まで使えなかった場所を実験的に使えるようにしたり、本来有料の場所でも、地域に貢献する取組であれば減免するなどのルールができれば、より活動が広がるのではないか。
- 子ども食堂や喫茶店が多世代交流の場になっているケースもある。
- 洛西ニュータウンの歩車分離や緑道をいかし、洛西エリアで屋台を引いて回り、移動式コミュニティスペースとしてもよいのではないか。
- 公園や芸大跡地、サブセンター、集会所などをもっと自由に、気軽に、楽しく使いたい。
- 子育て世代にとって、サブセンターの役割がよくわからない面がある。皆が集まれるイベントがあると、サブセンターに行きやすくなると思う。
- ハロウィンや演奏会、発表会、竹を使ったものづくり、公園での流しそうめんなど、あまりお金をかけずにイベントができると、多世代の交流が生まれるのではないか。



▲ 第3回タウンミーティングの様子

お忙しい中ご参加ありがとうございました。
次回は、皆様からの御意見も踏まえながら開催方法を
検討の上、今年度中に開催予定です。

